

14 短期大学部 生活ナビゲーション学科ライフデザイン専攻

1. 「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

生活ナビゲーション学科ライフデザイン専攻では、建学の理念である聖徳太子の仏教精神とそれに基づく学園訓の見地より誠実・礼儀・健康を心に留め、豊かな教養と実務的な専門性を備えた、グローバルに活躍できるビジネスパーソンを育成することを目的とします。

このために、卒業時点で学生が身につける資質・能力は、以下の3点とします。

1) 建学の精神に根ざした人格形成

聖徳太子の仏教精神を理解し、和の心を持つ人格形成修養を基に、社会に貢献できるビジネスパーソンとしての能力が培われている。

2) キャリアプランを自ら描く能力の修得

社会状況に関心を持ち、積極的にチャレンジし、8つのフィールドと23のユニット科目での学びにより、新たな資格を取得している。更に、卒業後、生涯にわたるライフプランとキャリアプランを自らデザインし、描くことができる。

3) 社会で求められるビジネスパーソンとしての基礎力の修得

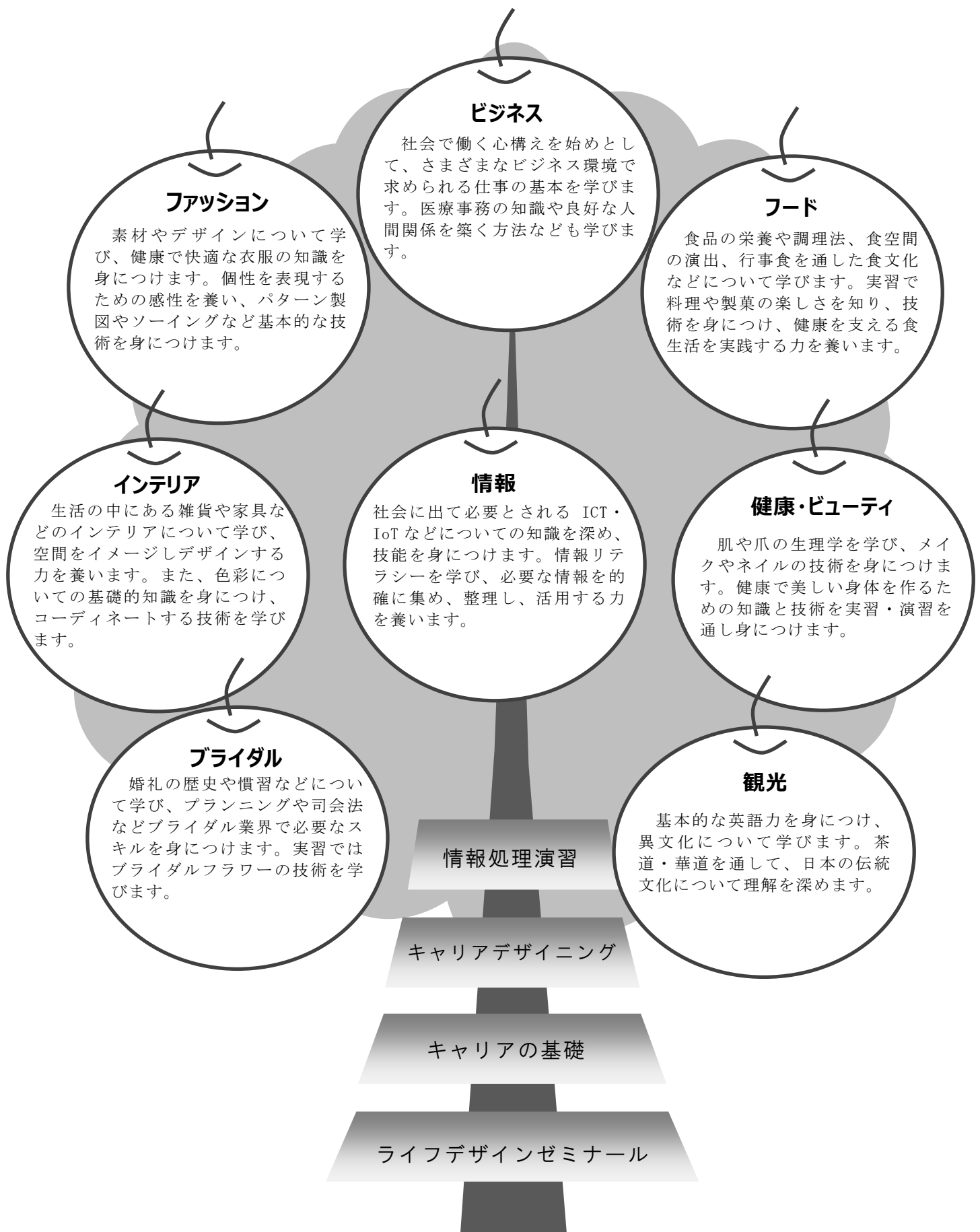
基礎学力をはじめとし、フィールド・ユニットでの専門知識・技能、社会人基礎力を修得している。

2. 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

(1) 教育課程の編成、教育内容

生活ナビゲーション学科ライフデザイン専攻は、教育課程の編成と実施については建学の理念の土壌に育つ樹木とその実りをイメージしています。これまでに育まれた人間性と基本的な生活習慣、基礎学力、社会人基礎力を基に、「ライフデザインゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「キャリアの基礎Ⅰ・Ⅱ」「キャリアデザイン」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を幹に、枝になる実をイメージして、専門科目の『ビジネス』『情報』『フード』『ファッション』『インテリア』『健康・ビューティ』『ブライダル』『観光』の8つのフィールドを配しています。各科目は、知識を理論的に学び、それらを実践的な演習・実習により定着させ、さらに学びの集大成として各種資格を取得できるように開講します。

- 1) 社会で働く心構えを始めとして、さまざまなビジネス環境で求められる仕事の基本を学び、医療事務の知識や良好な人間関係を築く方法なども学ぶために、ビジネスフィールドの科目群を配置します。
- 2) 社会に出て必要とされるICT・IoTなどについての知識を深め、技能を身につけ、情報リテラシーを学び、必要な情報を的確に集め、整理し、活用する力を養うために、情報フィールドの科目群を配置します。
- 3) 食品の栄養や調理法、食空間の演出、行事食を通じた食文化などについて学び、更に実習で料理や製菓の楽しさを知り、技術を身につけ、健康を支える食生活を実践する力を養うために、フードフィールドの科目群を配置します。
- 4) 素材やデザインについて学び、健康で快適な衣服の知識を身につけ、個性を表現するための感性を養い、パターン製図やソーイングなど基本的な技術を学ぶために、ファッションフィールドの科目群を配置します。
- 5) 生活の中にある雑貨や家具などのインテリアについて学び、空間をイメージしデザインする力を養い、色彩についての基礎的知識を身につけ、コーディネートする技術を学ぶために、インテリアフィールドの科目群を配置します。
- 6) 肌や爪の生理学を学び、メイクやネイルの技術を身につけ、健康で美しい身体を作るための知識と技術を実習・演習を通し学ぶために、健康・ビューティフィールドの科目群を配置します。
- 7) 婚礼の歴史や慣習などについて学び、プランニングや司会法などブライダル業界で必要なスキルを身につけ、ブライダルフラワーの技術を学ぶために、ブライダルフィールドの科目群を配置します。
- 8) 基本的な英語力を身につけ、異文化について学び、茶道・華道を通して、日本の伝統文化について理解を深め学ぶために、観光フィールドの科目群を配置します。



(2) 教育方法

- 1) 「ライフデザインゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「キャリアの基礎Ⅰ・Ⅱ」「キャリアデザイン」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」では、2年間をかけて、社会人基礎力を中心に社会で求められる基礎的な力を積み上げ身につけます。
- 2) 「ビジネス」「情報」「フード」「ファッション」「インテリア」「健康・ビューティ」「ブライダル」「観光」の8つのフィールドは、セメスターの半年間毎に自分の興味・関心により科目を選択し、見直しながら学修します。同じフィールドを選択することで学びを深めることや、フィールドを変更し学びの幅を広げることなど、より自分にあった学修プランを作り、学ぶことができます。
- 3) 各科目は、理論的に知識を学び、多くの実習・演習を通して、実践的な知識と技術を身につけ、学びの集大成として各種資格を取得することを目標とします。

(3) 学修成果の評価方法

- 1) 教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。
- 2) 科目の特色に応じ定期試験、小テスト、課題提出などにより評価します。アクティブ・ラーニングとして行うグループワークや発表などの学修態度や意欲も含め、総合的に評価します。
- 3) 実習・演習では、実践での学修態度を重視し、評価します。制作した作品や課題について、制作マップや実習ノートなど完成に至るまでの過程や、制作発表時のプレゼンテーションボードなども含め、総合的に評価します。
- 4) 各種資格の取得は、学修の目標、意欲、成果として位置付け、評価します。

3. 「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

生活ナビゲーション学科ライフデザイン専攻は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。

- 1) 豊かな教養と専門性を備え、将来グローバルに活躍できるビジネスパーソンになることを目指すこと
(求める要素：思考力・判断力、表現力)
- 2) 自らのライフプランとキャリアプランを描くため、自分の将来像や仕事のイメージ創り、適職探しに興味を持つこと
(求める要素：主体性・多様性・協働性)
- 3) 仕事に必要なビジネス関連知識を修得し、各種資格取得を目指すこと
(求める要素：知識・技能)
- 4) コミュニケーション能力を高め、物事に積極的にチャレンジする熱意のあること
(求める要素：関心・意欲・態度)
- 5) 高等学校等で学ぶ、基礎的な国語力と情報処理能力を身につけていること
(求める要素：知識・技能)

入学者選抜方法における評価項目（生活ナビゲーション学科ライフデザイン専攻）

入試区分	入学者選抜方法	関心 意欲 態度	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 多様性 協働性
AO入試 オープンキャンパス 参加型	「小レポート」 「個人面談」	○			○	○
AO入試 自由応募型 (Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)	「個人面談」 「志望理由書」 「調査書」	○			○	○
同窓入試 (Ⅰ期・Ⅱ期)	「個人面談」 「志望理由書」 「調査書」	○			○	○
特別活動推薦入試	「グループディス カッション」 「エントリーシート」 「調査書」	○	○		○	○
自校・指定校制 推薦入試	「集団面談」 「調査書」	○			○	○
公募制推薦入試基礎	「教科」「調査書」	○	○			○
公募制推薦入試標準	「教科」「調査書」	○	○			○
一般入試	「教科」	○	○			
一般入試 センター試験 利用入試Ⅰ期	「教科」	○	○			
社会人入試	「小論文」 「個人面談」 「書類審査」	○		○	○	○
帰国生徒入試	「教科」 「個人面談」 「書類審査」	○	○		○	○
外国人留学生入試	「教科」 「個人面談」 「書類審査」	○	○		○	○

- ・「志望理由書」：関心・意欲・態度、協働性
- ・「調査書」：関心・意欲・態度、協働性
- ・「小論文」：思考力・判断力、表現力
- ・「記述式問題」：思考力・判断力
- ・「集団面談」：主体性・多様性、表現力
- ・「実技」：技能
- ・「グループディスカッション」：主体性・多様性・協働性
- ・「エントリーシート」：関心・意欲・態度、協働性、知識・技能
- ・「書類審査」：関心・意欲・態度、協働性
- ・「小レポート」：表現力
- ・「個人面談」：主体性・多様性、表現力
- ・「教科」：知識
- ・「基礎教育科目の履修および授戒への参加」：関心・意欲・態度